

# 昭和町におけるコミュニティ・スクールの取組について

昭和町教育委員会学校教育課

## ●コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクールは、学校、保護者、地域住民などが共に知恵を出し合い、協働し、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

学校の設置者である教育委員会からコミュニティ・スクールとして指定された学校には、「学校運営協議会」が設置されます。この協議会は保護者や地域住民などによって構成され、一定の権限と責任を持って、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりする取り組みを行います。これらの活動を通じて、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させることができます。

## コミュニティ・スクールのイメージ



※文部科学省パンフレット「コミュニティ・スクール」（平成24年）より

## ●コミュニティ・スクールに期待される効果

文部科学省が平成24～28年度の5年間に約3,000校の指定を目標とする中、取組は全国的に拡大しており、平成26年4月1日現在で1,919校が指定されています。

すでに学校運営協議会を設置して取組を行った学校では、以下のような効果があったことが、校長へのアンケート調査の結果などから報告されています。

コミュニティ・スクールについての成果認識（肯定的な回答をした校長の割合）

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| ・学校と地域が情報を共有するようになった。     | 92.6% |
| ・地域が学校に協力的になった。           | 87.7% |
| ・地域と連携した取組が組織的に行えるようになった。 | 84.0% |
| ・特色ある学校づくりが進んだ。           | 83.0% |
| ・学校に対する保護者や地域の理解が深まった。    | 82.6% |
| ・学校関係者評価が効果的に行えるようになった。   | 82.5% |

※平成23年度文部科学省委託調査研究「コミュニティ・スクールの推進に関する教育委員会及び学校における取組の成果検証に係る調査研究書」（日本大学文理学部 2013年3月）より作成

コミュニティ・スクールの導入に関しては、制度の利点をふまえながら、どのような効果を期待し、どのような内容を、どう実施していくかということを実体的に検討し、それぞれの地域や学校にふさわしい形で展開を図っていくことが大切であると考えられます。

## ●押原小学校をコミュニティ・スクールに

押原小学校は、創立130年の歴史を誇る伝統校です。これまで、地域の多くの方に愛され、様々な形で支えて頂きながら、学校としての歩みが重ねられてきました。

押原小学校が、これからも地域の活力に支えられた教育活動を展開し、地域社会（コミュニティ）の中核的な存在としてその価値を保ち続けていくためには、学校運営協議会制度を同小に相応しい形で導入することが有効であると考えられました。また、導入の効果を実際に検証しながら、そのあり方を考察することによって、町内の他校にもそれぞれの状況にふさわしい形でその成果を活かしていきけるのではないかと考えられました。

こうしたことから、昭和町教育委員会及び押原小学校では、コミュニティ・スクールの導入をめざしていくこととしました。

## ●コミュニティ・スクールへの指定に向けた実践研究

文部科学省は、コミュニティ・スクールの制度運用に関する実践研究を全国の教育委員会に委託し、同制度の全国的な普及・展開をめざす事業を進めています。

本町教育委員会は、前述のような考えのもとこの委託事業に応募し、平成25・26年度において、指定研究に取り組んでいます。

研究内容としては、学校運営協議会の設置に向けた課題の解決方策、設置後の運用方法、関係機関との連携のあり方などについて、協議検討ばかりでなく、教育活動への支援活動なども実際に行いながら、実践的に明らかにしていくことが求められています。研究の推進にあたっては、学校内外の関係者で構成された推進委員会及び学校運営協議会が中心となります。

## ●押原小学校における学校運営協議会の方向性

前述の通り、押原小学校がすでに持っている人的・物的な地域の資産をよりよく活かしていくことがこの研究事業に着手した趣旨です。そこで、同小の学校運営協議会においては、地域の持つ資産を活かして教育活動を効果的に支えていくには、どのような内容、方法、仕組みが必要なのかを考え、実際に取り組んでいくことが重点になっていくと考えられます。

平成26年度5月には、正式に押原小学校をコミュニティ・スクールとして指定し、同7月からは、同校における学校運営協議会の取組が開始されます。学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとしての取組を実際に行いながら、研究を推進し、その成果を公開していきます。